

○復古記東京府史料ニ云明治元年四月大總督有栖川親王田安中納言ヲシテ市中取締ノ事ヲ町奉行ニ

令セシム依テ町奉行ヨリ府下ニ在ノ旨ヲ布達ス
江戸市中取締之儀町奉行ハ御任セ被遊候旨大總督
官様ヨリ被仰出候間一際勉勵可致旨田安中納言殿
ヨリ被仰渡候ニ付取扱振之儀相同置候品モ有之候
得共右ハ追テ御沙汰有之候迄前々之通り相心得可
申旨猶被仰出候ニ付公事訴訟筋之儀ハ勿論都テ民
情ニ於テ不安儀有之候ハ、無懸念月番町奉行役所
ハ可訴出右ハ御時節柄ヲ憚リ差扣候ニモ相聞候間
改テ相觸候事

○復古記云按スルニ五月鎮臺ヲ置クニ及ヒ二人
ノ假管ヲ解ク其條ヲ参看スヘシ

元年十二月五日

徳川大納言以下廿八名ニ東京市中取締ヲ命ス

徳川大納言 徳川中納言

新庄下野守 米津伊勢守

井上伊豫守 稲葉備後守

井上宮内少輔 大久保佐渡守

大岡主膳正 黒田筑後守

細川玄蕃頭 山口周防守

阿部駿河守 加納遠江守

土岐隼人正 松平大和守

久松大藏少輔 水野肥前守

中山備中守 保科彈正忠

内田主殿頭 森川内膳正